



議会だより

住みやすい町づくりを目指して <https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>



国営讃岐まんのう公園 干支の『寅』

(コキア枯れ木使用)

Contents

令和4年	
まんのう町議会議員 新年の抱負	2
第3回臨時会・12月定例会	4
委員会報告	10
11人が町の考えを問う 一般質問	13
議会からこんにちは 公民館の紹介	20



まんテンちゃん

の抱負

川原 茂行



昭和・平成・令和を
生きる我が人生。
真実一路

大西 豊



高齢化社会における
持続可能な農業を
推進してまいります。

三好 勝利



農地転用の規制緩和
の強力な推進。

松下 一美



寅年の飛躍を期し
諸課題に取り組んで
参りたい。

白川 皆男



新しい年に向けて
全身全霊で行く。

白川 正樹



深い谷ほど 山は高い

正副議長から年頭のごあいさつ

まんのう町議会議長

大西 樹



雲外蒼天

苦しい状況であっても
諦めなければいつか
好転する。



新しい年明けを迎え、

コロナウイルスは形を変え、まだ

収束の見えない状況ではあるが、

今年も全議員が一丸となり、この

難局を乗り越え、まんのう町発展

のため全力で取り組んでいく覚悟

です。

三好 郁雄



人と人 和の絆

令和4年まんの

2022 新年

まんのう町議会副議長

合田 正夫



今を大切にし
日々怠ける事なく
努力する。

明けましておめでとうございます。

住民の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

一昨年から続く、新型コロナウイルス感染症、1日も早い収束を願い、全議員で地域経済の活性化に取り組んで参ります。



田岡 秀俊



何事にも
「終始一誠意」
で取り組んでまいります。

川西 米希子



真摯に誠実に
与えられた責任を果たす
一年になるよう頑張ります。

竹林 昌秀



縦々と研いで
薫風を渡らせる。

小山 直樹



町民の皆さんの
暮らしと福祉を
最優先に頑張ります。

常包 恵



一生懸命
何事にも全力で取り組
みます。

鈴木 崇容



不撓不屈
強い意志をもって、
どんな苦労や困難にも
くじけず頑張る。

令和3年12月定例会

開催期間 12月6日～12月17日（12日間）

令和3年度一般会計補正予算（案）（第4号）、国民健康保険特別会計補正予算（案）（第1号）、介護保険特別会計補正予算（案）（第1号）、町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定、米価下落対策を求める意見書など、11議案及び発委の審議を行い原案通り可決した。

令和3年第2回臨時会

開催期間 11月30日

町職員の給与に関する条例、特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例、議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正、3議案の審議を行い原案通り可決した。

議案の採決結果

賛否の分かれた議案に対して、各議員の議決の結果は下記の通りです。

令和3年 第3回臨時会（会期：令和3年11月30日）																				
議案名等	議席番号		議決結果	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	関連ページ
	賛成	反対		大西 樹	鈴木 崇容	常包 恵	小山 直樹	京兼 愛子	竹林 昌秀	川西米希子	田岡 秀俊	合田 正夫	三好 郁雄	白川 正樹	白川 皆男	松下一美	三好 勝利	大西 豊	川原 茂行	
議案第1号 町職員の給与に関する条例の一部改正	14	1	可		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P05

※可-可決 否-否決 ○賛成 ×-反対 欠-欠席
 ※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。（議長 議席番号16番）

令和3年

第3回臨時会

【即決案件】

【議案第1号】

町職員の給与に関する条例の一部改正

香川県人事委員会勧告等に基づいて、町職員の期末手当を0・15カ月削減した。

討論

【反対】小山直樹議員

コロナ禍にあつて町職員の防疫作業などの業務は増えているにも関わらず、期末手当を引き下げる条例改正には反対である。むしろ上乘せ手当が必要な状況ではないか。

【賛成】川西米希子議員

今回の引き下げは県の人事委員会勧告に基づくものであり、職員の給与水準を民間企業従業員の給与水準と均衡させることを基本として、調査

のうえ行われた勧告であるため賛成する。

【賛成】竹林昌秀議員

職員給与の削減は、コロナ肺炎騒動が収斂しゅうれんすれば、元に戻すことを条件として、賛成する。

【議案第2号】

町特別職の職員で常勤のもの の給与及び旅費に関する 条例の一部改正

町職員の給与改定等に基づいて、町長、副町長、教育長の期末手当を0.1カ月削減した。

【議案第3号】

町議会議員の議員報酬及び 費用弁償等に関する条例の 一部改正

町職員及び特別職の給与改定に基づいて、町議会議員の期末手当を0.1カ月削減した。

令和3年

12月定例会

【即決案件】

【発委第1号】

米価下落対策を求める意見書

稲作は日本農業の根幹であり国民の主食である米の生産が危ぶまれる事態は断じてあつてはならないことである。

令和3年度、米のJA概算金等が大幅に下落したことから、本町の米生産者も多大な経済的影響を受けている。全国的に米の消費量が減少しているなか、昨今のコロナ禍の影響もあり、今後の米の消費動向はますます不透明であり、このままでは生産者の営農意欲が喪失し後継者が不足もあいまつて、今後離農がますます加速していくことが懸念されている。

国においては、米の消費拡大、作付転換等の需給対策に取り組んではいるが十分な改善には至っていないのが現状である。

不測の事態に備えた総合的な食料安全保障の確立に向け、今後、生産者の意欲を損なうことなく安定的な米価のもとで農家の所得確保が図られるよう、施策を展開していくことが国の責務であると考える。

よつて、国においては、米の需給バランスの安定化と需要の促進を図るためにあらゆる政策手段を講じ度重なる米価下落に歯止めをかけるとともに、ひっ迫した米生産者の経営安定化に向けた緊急対策を強力に実施するよう、強く要望する。

提出者

建設経済常任委員会

委員長 川原茂行

【付託案件】

各常任委員会で所管する案件について執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

教育民生常任委員会

【議案第4号】

町国民健康保険条例の一部改正

上位法である健康保険法施行令等の一部改正が行われ、令和4年1月1日から施行されることに依るもの。産科医療補償制度が見直され掛金が4千円引下げられるが、少子化対策としての重要性に鑑み出産育児一時金の支給額と産科医療補償制度の掛金を合わせた支給総額について42万円を維持すべきとし、出産育児一時金を現行の40万4千円から40万8千円に引き上げた。

●主な質疑と答弁

【委員】産科医療補償制度

掛金が引下げられた理由は何か。

【執行部】この制度は分娩に関連して新生児が重度脳性麻痺を発生した場合、その子どもと家族の経済的負担を速やかに保障するものであるが、そうした症例が減少しているためである。

【委員】出産育児一時金

支給額が42万円では少ない。支給額を更に引き上げるよう地方団体（市町村長会、議長会）を通じて国に働き掛けて貰いたい。



【議案第7号】

町国民健康保険特別会計補正予算(案)(第1号)

歳入歳出それぞれ2億4840万3千円を追加し、総額を23億4190万3千円とした。内訳は療養給付費2億1千万円、高額医療費3577万2千円、特定健康審査等負担金償還金263万1千円である。療養給付費の増額は令和2年度はコロナ禍で受診控えが見られたが、令和3年度は入院等を含む療養費が大幅に増えたことによる。特定健康審査等負担金償還金は令和2年度の精算であり、コロナ禍で健康審査受診者数が予定より少なかったため減少分を返金した。



【議案第8号】

町後期高齢者医療特別会計補正予算(案)(第1号)

歳入歳出それぞれ649万3千円を追加し、総額を3億679

万3千円とした。増額は後期高齢者医療広域連合への納付金であり保険料徴収金の増額に伴うものである。



【議案第9号】

町介護保険特別会計補正予算(案)(第1号)

歳入歳出それぞれ5580万4千円を追加し、総額27億8130万4千円とした。保険給付費と諸支支出金の増額。施設介護サービス給付費1500万円、償還金4080万4千円である。施設介護サービス給付費は予算計上見込み者数より利用者数が増えたことによる。償還金は実績に基づき返還した。



建設経済常任委員会

【議案第10号】

下水道特別会計補正予算 (案)(第2号)

歳入歳出それぞれ100万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億856万円とした。内訳は、地方債の補正で、事業債を30万円減額し、資本費平準化債を130万円増額した。これは、中讃流域下水道(金倉川処理区)浄化センター改築に伴う当町負担分である。また、マンホールポンプ維持管理業務を次年度に業務委託するための業者選定入札を3月中に行うため、令和4年度債務負担行為として110万円の限度額を定めた。

●主な質疑と答弁

【委員】下水道事業団

財団法人下水道事業団は下水道事業にどうかかかわっているのか。

【執行部】公共事業団として全

体的な事務運営を行っている。中讃地区では金倉川と大東川の処理場の管理運営と事務を委託している。



【議案第11号】

農業集落排水特別会計補正 予算(案)(第2号)

長炭中部クリーンセンター汚水処理施設維持管理業務において、次年度に業務委託するための業者選定入札を3月中に行うため、令和4年度債務負担行為として260万円の限度額を定めた。

●主な質疑と答弁

【委員】水質検査

農業集落排水処理施設が経年によって機能低下していると思われるが、排水の水質を検査する町職員は何名か。

【執行部】町職員は検査を行っていない。水質検査は専門業者に業務委託し、検査結果をも

らっている。



総務常任委員会

【議案第1号】

町職員の分限及び懲戒の手 続及び効果に関する条例の 一部改正

職員が公務中の事故や通勤途上の交通事故により、禁錮刑以上で執行猶予が付いた場合、情状により例外的に失職させないことができるようになった。

●主な質疑と答弁

【委員】該当事案

今までに本町で該当する事案はあったか。小豆島町、土庄町では、公務外であってもその内容を町長が判断できる条例になっており、今後見直しを検討してほしい。

【執行部】合併前も含めて、該当事案はなかったと思う。周辺自治体を参考に改正したが、今後の検討事項としたい。



【議案第2号】

町過疎地域における固定資 産税の課税免除に関する条 例の制定

過疎地域内の産業の振興を図るため、町内において一定の事業用資産を取得した情報サービス業、製造業などの固定資産税を3年間免除することができ

●主な質疑と答弁

【委員】町の負担

現時点で課税免除される税額約3400万円の内、交付税で補填されない約850万円は町負担か。

【執行部】四分の三は国から交付税で補填され、残りが町負担となる。



【議案第3号】

町国民健康保険税条例の一部改正

子育て世帯の経済的負担軽減のため、未就学児にかかる国民健康保険税の均等割額を5割公費で軽減する。

●主な質疑と答弁

【委員】ペナルティ

本町が全額負担した場合は、国や県からペナルティを受けるのか。

【執行部】

財政調整交付金を受けており、国を上回る措置は何かのペナルティが考えられる。



【議案第5号】

中讃広域行政事務組合規約の一部変更

仲善クリーンセンターを廃止し、クリントピア丸亀へごみ焼却施設の集約化していく計画の策定費用などの負担割合を中讃広域（2市3町）で定めた。

●主な質疑と答弁

【委員】負担金

令和4年度からの負担金はどれくらいか。

【執行部】

焼却施設は令和10年度に一本化する。来年度からの必要な費用は、今後協議、決定していく。



【議案第6号】

一般会計補正予算案（案）（第4号）

教育民生・建設経済常任委員会から、関係部分について執行部から説明を受け質疑応答の後、了解した旨報告があった。（以下は、各委員会の主な質疑）

●主な質疑と答弁

《教育民生常任委員会関係》

【委員】放課後児童クラブ

報酬費が300万円減額の理由は。

【執行部】 本年9月より運営業務を外部委託したため、町が雇

用する会計年度任用職員の報酬が不要となったため。

【委員】四条小学校

改修工事の詳細は。

【執行部】 来年度の児童数が本年度より多くなる（2学年以外2学級の予定）ことから、教室数を増やす工事を行う。



教室を増やす四条小学校

《建設経済常任委員会関係》

【委員】 イベント

今年の予算を来年度に上乗せして盛大に行つてはどうか。

【執行部】 今後、コロナ感染症が収束すれば考えたい。

【委員】 森林環境譲与税

都市部との配分是正を求め、森林整備のために積極的に全部使つていく姿勢を示してほしい。

【執行部】 森林の多いところに重点的に配分するよう、県を通じて要望を続けていく。

《総務常任委員会関係》

【委員】 消防団

土地を購入する準備をしているようだが、場所と理由は。

【執行部】 仲南地区において、新入団員の減少、屯所の老朽化等から、地域の実情に合わせて分団・施設の再編整備を進めている。今回は、一番老朽化している買田・生間地区の整備を計画している。(仲南地区には3



統合予定の消防屯所

分団あるがその中に15の副分団あり、それを6つに再編することになった。)



川原議員 総務大臣感謝状贈呈



教育民生常任委員会 報告

児童虐待

防止するためのさらなる取り組み

【委員】 町内の児童虐待についてアンケート調査を行ったことはあるのか。青色防犯パトロール車に虐待防止のステッカーを貼って啓発することも有効な手段ではないか。

【福祉保険課長】 町内で全戸を対象としたアンケート調査を行ったことはない。子育ての悩み等の相談を自らできない人をどのように見つけていくのが、今の課題だと考えている。令和4年度に福祉保険課内に子どもと家庭の相談窓口を設置する予定である。

町立図書館

本は町民共有の財産

【委員】 貸し出した本が返却されない場合、どのようにして対応しているのか。

【生涯学習課長】 繰り返し督促をしている。最終的には除籍もあり得るが、まだそのようなケースはない。



みんなに読んでいただきたい

琴南小学校改修工事

効率的・効果的な改修工事

【委員】 視察時に外壁の汚れが目立っていた。屋根も含め点検を行い、必要な工事は令和4年度の改修時に行うべきではないか。

【学校教育課長】 必要な工事については、令和4年度に実施するよう取り組んでいきたい。

健康診査

生活習慣病予防や病気の早期発見・早期治療のため

【委員】 本年度の健康診査の受診者数が昨年度に比べて2倍以上に増えているが何故か。

【健康増進課長】 令和2年度は、コロナ禍により、全て中止した特定健康診査等の集団健診を令和3年度は実施したためである。

学校給食

成長期にある児童・生徒の心身の健全な発達のため

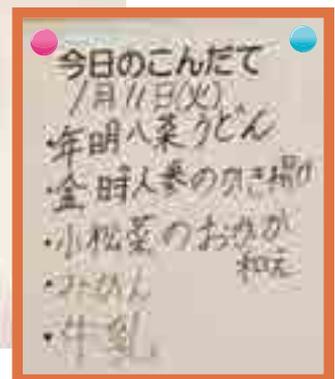
【委員】 四条小学校の給食調理の民間委託については、保護者に説明会を行ったのか、保護者が納得する説明が必要ではないか。給食調理の外部委託は今後増えていくのか。

【学校教育課長】 保護者には文書で伝える。献立や食材の調達先も町が決定し給食の調理のみを委託するため給食の提供については従

来通り。現時点での給食調理の民間委託は高篠、四条小学校の2校のみと考えている。



栄養満点な給食



建設経済常任委員会 報告

現場視察

◆町道宮東旭東線（町道改良工事）、岡ノ山地区（急傾斜地崩壊防止対策事業）の現地調査を行った。



造田岡ノ山地区の急傾斜地崩壊防止対策

農地

農地転用は

【委員】太陽光発電施設への転用許可の判断基準は。

【農林課長】太陽光発電施設への農地転用は、県事務処理要領による。

【委員】農地法第5条第1項の規定による許可申請の内容は。

【農林課長】四條地区は病院の敷地拡張。公文地区は大型店舗の建設が予定されている。

農地の貸借

【委員】農地の利用権設定で、本来は機構法を通じた集積面積を増やすべきだが、基盤法での使用貸借面積が多い理由は何か。

【農林課長】農地機構が取り扱える利用権設定の期間が6年以上である、借主が高齢であるなどの理由からしばらくは様子を見たいとの要望があるため、機構法を利用しないで契約する方が多い。

地域振興

ひまわり特産品

【委員】今年も、ひまわり焼酎が3300本完成し、現在どれくらい売れているのか。

【地域振興課長】現在「西野金陵」へ1700本販売しており、そこから各小売店へ配達されている。

ふるさと納税返礼品

【委員】ふるさと納税の返礼品で薪が不足しているとのことだが、薪は、まんのう町の特色ある資産である。うまく有効活用できるように増産の努力してもらいたい。



まんのう特産品のひまわり焼酎

生活基盤整備

安全・安心な生活環境を

【委員】町道宮東旭東線改良工事の幅員は2mで将来的に見た場合、狭いと思うが地元の意見はどうだったのか。

【建設土地改良課長】ここは都市計画区域のため、幅員は当然4m以上が望ましい。しかし、今回の申請内容は道路の拡幅でなく、道路の路肩が崩壊しそうで危険なため緊急対応として改修工事を行っている。

【委員】町道橋梁長寿命化修繕事業の進捗状況は。

【建設土地改良課長】全町道橋梁約250橋のうち、修繕工事を実施しても機能復旧が見込めないものが2橋。修繕を要するものが約20橋あり、これを5か年かけ補修工事を行っている。



工事の進む町道宮東旭東線

総務常任委員会 報告

選挙

衆議院選挙の投票率と開票の終了時刻は

【委員】 今回の投票率は50・74%で前回の投票率は何%だったか。また、開票が終了した時刻は。

【総務課長】 前回の投票率は49・41%で今回、若干投票率は増えている。終了時刻は0時半頃であったと思われる。

【委員】 まんのう町は投票時間を7時から20時で執行しているが、時間を短縮することで人件費が1〜2割削減になるとの報道もある。今後の課題として検討できないか。

【総務課長】 投票時間の繰り上げ理由は、投票者が少ないこと、事務の簡素化と、開票結果を早く出せること等である。よつて、投票時間の繰り上げについては地域の実情等も考慮し、選挙管理委員会です十分審議したい。

性的少数者

住民アンケートの結果は

【委員】 性的少数者の支援について、アンケート結果を今後どう反映していくのか。

【企画政策課長】 第3次男女共同参画プラン策定の基礎調査となる住民アンケートに性的少数者に関する設問を入れて意識調査を行った。結果が出たので本年度中には一定の方向性を出す予定である。

現地研修

研修内容は

【委員】 長尾会館で行われた香同教幼保こ部会現地研修の内容について。

【企画政策課長】 部落問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決を図るために組織している香川県人権同和教育研究協議会で幼稚園、保育所、こども



人権研修が行われた長尾会館

も園の部会単位での取組を行っており現地研修の一環として長尾会館を活用したものである。研修は館長が現状を報告し、人権問題について意見交換した。

入札

電子入札の準備は

【委員】 電子入札導入の準備状況は。

【総務課長】 香川県内の市町が共同で運用している

「かがわ電子入札システム」を使って、令和4年度から導入予定である。事業者へ、対応できるよう準備をお願いしている。

【委員】 今からシステム導入していく事業者もあり、1年程度は電子入札と従来型の併用を要望する。

消防団員

待遇改善について

【委員】 まんのう町消防団員の待遇改善について。

【総務課長】 消防団の報酬等については現在、調整中で来年度に改善する予定である。



住民の生命と財産を守る



議員が町の考えを問う

12月定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報 <https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>）に掲載していますので、ご覧ください。

議員名	質問内容	関連ページ
川西米希子	・地域衛星通信ネットワークの第3システム化について	P14
鈴木 崇容	・防災（再認識と災害時の対応） ・町長の政治姿勢と次期、出馬について	P14
竹林 昌秀	・本任期中の実績の掌握と、現下の残された課題を問う。 骨格となる五つを順次上げるとすれば、如何なることになるのか ・政府補正予算に見込まれる地方創生臨時交付金の使途への手持ち案を問う ・次年度の当初予算の編成方針と基軸となる施策の説明を求める	P15
京兼 愛子	・女性の活躍を支援するには	P15
合田 正夫	・道路改良について 来年度予算 ・農業問題について	P16
松下 一美	・防災対策を問う	P16
三好 郁雄	・横断歩道の通行方法について	P17
三好 勝利	・農地の一部地区の規制の緩和について ・仲南道の駅の今後の運営について ・幼・小・中学校の英語教育に関して	P17
常包 恵	・若者の生活支援 ・情報発信力向上が来町者を増やす ・四条小で学校給食民間委託	P18
白川 正樹	・3回目のワクチン接種について	P18
川原 茂行	・地球の温暖化による集中豪雨と防災減災との関係を	P19

町議会へ行ってみよう！

一般質問は、議員の思いや考え、熱意が聞けます。

町議会は、どなたでも傍聴できます。会議日程は、ホームページ、告知放送でお知らせしています。

詳しくは議会事務局へ

☎0877-73-0109



議会の傍聴席（後方）

次回の定例会は
3月に開催予定
です。



議会情報ホームページ
QRコード

避難生活の食事は
安いで温かい



すずき たかひろ
鈴木 崇容 議員

防災

問 災害時の避難所、食事、メンタルケアをいかに

答 改善と整備、対策を図って対応して行く

鈴木 ①災害時の避難場所の確保と環境改善
②避難生活時の食事と避難生活者のメンタルケアをどう考えているか。

町長 災害に対応するため29ヶ所の避難所と30ヶ所の避難場所を指定している。災害時の食事の提供は町、県の備蓄食料及び炊き出し、また、「香川県キッチンカー協会」と災害時の炊き出し等の協定も締結している。メンタルケアについては、避難生活でのストレスなど心のケアが大切であり、必要に応じて専門チームの派遣も要請して対応する。

町長の政治姿勢と次期出馬

問 次期町長選挙の出馬の意向は

答 引き続き、町政のかじ取りをさせて頂きたい

鈴木 平成18年4月24日、町長就任以降、町政全般にわたり取り組んでこられた町政運営、残された任期も5ヶ月を切った今、町長のこれまでの実績、成果の報告と来春の出馬の意向についてお聞きしたい。

町長 社会情勢を注視し、住民目線に立ち、現状と課題を見極め、積極果敢に町政運営に取り組んできた。1期目は、まちづくりの方向性を定めた『まんのう町総合計画』を策定し、2期目で、その計画の見直しとなる『後期基本計画』を策定、3期目は、人口減少抑制と活性化促進のために『まんのう町まち、ひと、しごと創生総合戦略』を策定。4期目は、特にこの2年間、新型コロナウイルス感染症と闘い、経済対策などに取り組んできた。今後、経験、人脈を生かし、引き続き町政の舵取りをさせて頂き、町政の運営に全力を傾注していきたい。

防災・減災対策

問 県に地域衛星通信ネットワーク第3世代の整備と町の負担軽減の要望を

答 災害時の通信手段の確保は重要であるため、町としての意見をしっかりと県に伝える

川西 災害が発生した際に、迅速で的確な対応を進めるためには、国・県・町・防災関係機関の間で情報収集や伝達の通信体制確保をしておくことが重要である。香川県では平成6年から地域衛星通信ネット



ワーク第2世代を構築・運用しているが、令和5年末で運用終了の見込みである。現在、国において地域衛星通信ネットワーク第3世代の整備を県が県内の全市町村と行った場合、地方交付税措置がされ財政負担の軽減が図られている。国の財政措置がある令和7年度までに地域衛星通信ネットワーク第3世代の整備が必要ではないか。

町長 災害対応に万全を期していくためには、関係機関と緊密に連携を図っていく必要があり、情報通信手段は不可欠なものである。新たなシステムについては、激しい降雨時にも通信が可能となる対災害性の向上も図られている。県の導入に向けての検討状況を注視していくとともに、これまで香川県の負担で一体的に整備を行ってきた経緯を踏まえ町としての意見を県に伝えていきたい。

住民の命と財産を守るため通信手段の確保が大切



かわし まきこ
川西 米希子 議員



女性の活躍を 支援するには

ジェンダー平等

問 育休取得率の向上と 女性管理職の増員を

答 女性職員の活躍支援に務める

京兼 持続可能な開発目標 (SDGs) は、2030年を年限とする17の国際目標を上げている。その内の『ジェンダー平等を実現しよう』の女性自立の促進と権利に焦点を向けたい。本町において過去5年間の男女の育休取得率は、女性は男性に比べて賃金や地位が低いことや結婚、出産が仕事を続けるハードルになっている。女性に対する差別構造や不利益を解消するには、男性の家事・育児の参加を促す有給育休制度の導入や女性自立の促進支援が必要であると考える。今後、どの様に取り組んでいくのか。

町長 育休が取得できるのは、3歳に満たない子を養育する職員であり、平成28年度から令和2年度までの実績は、男性職員が0%、女性職員が100%となっている。男性職員が0%である原因としては、無給などが一因。令和3年度の実績では、男性職員1名が短期間(3日間)取得。今後、他の自治体の取組を参考にしながら、男性職員の家庭生活での育児参加の促進や女性管理職が登用できるよう研究するとともに研修派遣などして女性職員の活躍の支援に努めていく。



ベビーマッサージ

任期中の実績

問 残る課題 高い医療費

答 疾病分析、保健と介護予防で

竹林 本任期中の実績を問い、残る課題を問う。

町長 第一に、人口減少時代への対応として、住宅取得補助と教育環境整備が効果を上げた。第二に、満濃池を国の名勝指定に、また綾子踊りのユネスコ無形遺産登録を進めている。第三に、企業の適地調査を実施した。第四には、暮らしを支える住民移動の手段確保を行った。第五には、健全な行財政運営が行えた。

竹林 職員育成をどうしたのか。

町長 文化庁へ派遣し、次は県自治振興課へ出す。

竹林 社会保険料を上げぬ方法はあるか。

町長 疾病別分析を行い、保健と介護予防を連携させる。焦点は糖尿病重症化の防止だ。

地方創生交付金

地方創生臨時交付金の使途 米価低落対策に向けて

竹林 農業立町の本町が米価下落対策の先頭を切りたい。作付けと出荷量の掌握ができるはずだ。国内の先行事例をタブレットでご覧いただく。

町長 農業経営収入保険の掛金への助成を検討中である。

予算編成

財政指標の見込みを 基金残高をタブレットに

竹林 予算審議で揉めぬように、財政指標の見込みを出せぬか。省庁別施策概要を掌握しているのか。

町長 予算書への添付資料として、基金残高をタブレットに載せている。ネット等を駆使して、最新の施策動向の掌握に努めている。

保険料を下げたい 米価の下落補填を！



たけばやし まさひで
竹本 昌秀 議員

災害時の
適格な情報収集に
ドローンを導入しては



まつした かずみ
松下 一美 議員

防災対策

問 大規模災害に備え、ドローンを導入しては

答 災害時の状況把握に導入を検討する

松下 大規模災害時等に備えて、ドローンの導入を図ってはどうか。現在ドローンは個人では色々と規制があり、農薬散布等に限定されている。本格的運用となれば町において対応されてはと思われるが、町長の考えを問う。

町長 最近航空法の一部が改正され、無人機活用の制度整備が進められており、本町でも法令や利活用の状況に注視しながらドローンの導入、利活用を検討していく。

松下 現在県下でも、高松市消防局をはじめ、総務省消防庁が、大規模災害に備えて各都道府県に配備を進めている。又四国地方整備局等も大規模災害時の状況把握に備えている。小型無人機ドローンで、人が立ち入れない危険な現場の映像配信により、現場近くの車両において的確な判断ができ、被害を最小限にとどめるように、本町においても南部消防と連携を取り導入を検討されてはと思われませんが町長の考えを問う。

町長 現在県内では、高松市消防局においてもドローンが導入され、被災状況訓練が実施されている。本町においても大規模災害時の状況把握に効果が期待出来ることから、導入に向け仲多度南部消防本部とも連携を図っていく。



早期の導入が望まれるドローン

道路改良と来年度予算

問 道路の危険箇所への対応と来年度予算は

答 追加予算を補正計上し道路改良を行う

合田 町の道路改良について、通学路、生活路、町道農道といった危険箇所への対応をどのように考えているのか、また来年度予算について聞く。

町長 全要望数は 119 件、建設土地改良課所管が、52 件、実施済、実施予定が 14 件、要望書提出待ちが 28 件、対応不可が 10 件で今年度は交通関連事業を積極的に実施し、予定していた予算をすべて消化している状況である。今議会で追加予算を補正計上し最大限の成果を挙げられるよう危険箇所への対応を進める。

農業問題

問 コロナ禍で農業が赤字低迷だが対策は

答 農家所得の向上に繋がる地域振興を行う

合田 近年、コロナ禍により農業実績が赤字となり農業者は切実に苦しんでいる。町として何か対策、施策はないか。

町長 新型コロナウイルスの発生により、農業分野では米価の下落、野菜の価格低迷で農家の多方面で厳しい影響が出ている、少しでも農業者のリスク軽減のため、収入保険制度や農業改良普及センター、農業委員会などで青色申告、簿記記帳研修会などを開催し取り組んでいる。本町も収入保険料の一部の助成を検討している。

傷ついた農業者に
新たな助成を



こうだ まさお
合田 正夫 議員



みよし かつとし
三好 勝利 議員

農地転用の 規制緩和を願う

農地問題

三好 農地の一部地区の規制の緩和について。

町長 農地を他の用途として利用しようとする計画、農地転用の規制は、農業上の土地利用のゾーニングを行う農業振興地域制度と個別の農地転用を規制する農地転用許可制度がある。農業振興地域制度では、農業上の利用を確保すべき土地として指定した区域では農地の転用は禁止、農地転用許可制度では、優良農地を確保するため、農地の優良性や土地の利用状況などにより、農地を区分する。制度については、農地に限られた資源であり、地域における貴重な資源である。耕作者自らによる所有が果たしてきている重要な役割も踏まえ、農地を農地以外の利用に対して規制しているものであり、農地の荒廃や乱開発を防止して優良な農地を確保する制度である。

仲南道の駅

三好 仲南道の駅の今後の運営について。

町長 本施設は、町内より産出する農林産物及び加工品を出展・販売、田舎の味を提供する農村レストランを運営し、生産者と消費者の交流を促進し、農業所得の向上、雇用機会の創出を図り、町勢の活性化を目的としている。近年は、周辺に同類の施設ができ、環境や消費者のニーズが変化し対応しきれず、経営課題となっていた。そこで、経営の立て直しを図るため、道の駅の施設を実際に運営し、来客者数10万人を180万人へと再生させた永井氏に経営改善計画の策定を委託し、経営改善を行っていく。計画が出来上がった段階で進めていきたい。

通学児童の交通安全

問 交通量が多く危険な四條交差点の安全対策を

答 地域の方の支援とドライバーへの安全運転啓発で通学児童の安全確保に務める

三好 四條交差点は、小学校の児童が通学に利用しているが、交通量の多い交差点である。一部の児童は交差点の横断歩道を最大3回渡り登校しているが3回も横断歩道を渡ることは危険ではないか。児童を事故から守るため更なる安全対策が必要だと思う。

①車道と歩道を明確に区別するために歩道を少し上げてはどうか。

②車道と歩道の間ガードパイプを設置してはどうか。

③交差点内での車輛の停・駐車禁止は守られているのか。

町長 天皇、大橋地区からは、50人を超える児童が通学している。交差点での登校児童の3回の歩道横断は、交差点の北西部分において信号を待つ場所が殆どなく、学校や地域団体で協議を行い安全な滞留場所がある場所に一度児童を渡らすことで、安全を確保しつつ横断できるようにしたためである。

①当該歩道の構造は縁石を斜めにすり合わせたセミフラット式で県の基準に合致している。

②関係機関との協議が必要。春と秋に開催の現地診断や小学校区別に実施の交通安全総点検などで要望していきたい。

③道路交通法を守らず危険な車輛については、警察と連携して対応していく。



みよし いくお
三好 郁雄 議員

子どもは町の宝 交通事故から 守ろう

若者の生活支援

問 中学校給食費の無償化を

答 財源確保が課題

常包 新型コロナで被害の大きい若年層に対して、大学、就職、子育てなどいろいろな場面で支援が必要だ。教材費、部活動費の上に高校進学に向けての塾など出費が多い中学校の給食費無償化を求める。経済的理由により全国平均で約6人に1人が就学援助を受けている今日、子どもたちの夢を実現できるよう将来の選択肢を増やせるよう支援を。大阪市では公立小中学校で無償化している。

教育長 教育費に年間、小学校で約32万円、中学校で約49万円かかっている。中学校給食費は一人年間5万5千円で、中学生459名、全体で約2500万円必要だ。保護者負担の軽減策の一つになるが、財源など様々な問題をクリアしながら十分に検討していく。

問 進出企業への支援策は

答 研究を続けている

常包 若者支援の大きな柱が働く場所の確保だ。昨年12月議会において、町で起業したり、町内へ進出してくれた企業への支援策が周辺市町より少ないので調査検討してくとの答弁。これまでの検討状況と新年度予算への反映は。

町長 他市町では、固定資産税の優遇や新規雇用者数に対する助成制度が多いようだ。町として、企業立地において、どのような支援が良いのか財政面も併せて研究を続けているところである。

常包 1年経っても具体策が出てこない。スピード感を持った対応を求める。

予約方法は簡単か
3回目接種



しらかわ まさき
白川 正樹 議員

ワクチン接種

問 3回目はいつ頃になるか

答 原則8か月以上経過した
18歳以上の者

白川 住民にとって今、最も関心のある事の一つである3回目のワクチン接種はいつになるか。

町長 5月に2回目終了の方は来年1月から、順次、接種を受けられる。接種券は予約集中による混雑を防ぐため2回目の接種時期の早い順に段階的に発送する。

問 接種していない者も、受けられるか

答 接種期間を継続する

白川 何らかの理由で今までに接種していない者も同時に受けられるか。

町長 実施期間は令和4年9月30日まで延長され、1回目の予約はコールセンターへの電話のみで、回数にかかわらず希望する人は健康増進課まで連絡。

問 予約方法は、
高齢者に分かりやすいか

答 自分で予約せず、町が指定する日時、
及び医療機関で受けられる

白川 予約方法が前回と異なるが高齢者にとってわかりやすいか。

町長 65歳以上の高齢者限り、自分で予約せず、接種券と同封されたはがきに必要事項を記入して申請すると町またはコールセンターから日時と医療機関の連絡がある。3回目予約方法はコールセンターへの電話とインターネットによる予約も継続する。詳細は広報1月号に合



希望する高齢者は
提出するだけ

若者が
夢を実現できる
社会に



つねかね めぐみ
常包 恵 議員



かわはら しげゆき
川原 茂行 議員

生命を守るの
はこれでもいいのか

防災減災

問 森林環境譲与税を見直す

答 配分方法に不満があり、今後も是正を行うよう、国・県に要望していきたい

川原 森林を守り、水資源を守るために交付される森林環境譲与税は、「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることとなっているが、現実には人口の多い都市部に多く配分され、森林を抱えその整備が必要な過疎化のすすむ自治体にとっては不利な制度設計となっている。森林の持つ公益的機能（水源涵養・土砂災害防止・生物多様性保全など）を保全し充実していくためにも森林面積の多い自治体に多く配分されるよう算定方法の見直しをする必要があるのではないか。

町長 林を守る本町としては配分方法に不満があり、今後も是正を行うよう、国・県に要望していきたい。

川原 林務関係の専門的スキルを持つ職員を雇用して、町の森林整備を促進してはどうか。また、町が技能士の育成をしてはどうか。

町長 現在、県の林務経験者を招聘して事務にあたり、今後も同様に続けていきたい。人材育成については今後、検討していきたい。

川原 農地の多面的機能を利用した防災施策は農林水産省ではなく国土交通省が実施主体となるべきではないのか。

町長 国も各省庁が連携して防災対策にあたっていると考えている。事業の実施主体については政策目的と整合を図るよう国に進言していきたい。

新型コロナウイルス対策

感染症対策への

ご協力をおねがいします

新型コロナウイルスを含む
「手洗い」や「マスクの着用を
含む咳エチケット」です。
感染症対策の基本は、
新型コロナウイルスを含む

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやるう



マスクを着用する（口・鼻を覆う）
ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
袖で口・鼻を覆う

あ
と
が
き

編集委員長 鈴木 崇容

新年あけましておめでとうござ
います。

皆様方におかれましては、新春を
晴々しい気持ちでお迎えのことと、
お慶び申し上げます。

令和4年も、新型コロナウイルス
感染症対策を継続し、尊い日常を守
り、1日も早いコロナ収束を祈りな
がら、今年も広報委員全員で精一杯
の努力をし、わかりやすく、読みや
すい『議会だより』の作成に尽力い
たしますので、
本年もどうぞ宜
しくお願い申し
上げます。



議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 鈴木 崇容 |
| 副委員長 | 常包 恵 |
| 委員 | 白川 皆男 |
| 委員 | 田岡 秀俊 |
| 委員 | 京兼 愛子 |
| 委員 | 小山 直樹 |



議会からこんにちは No.33

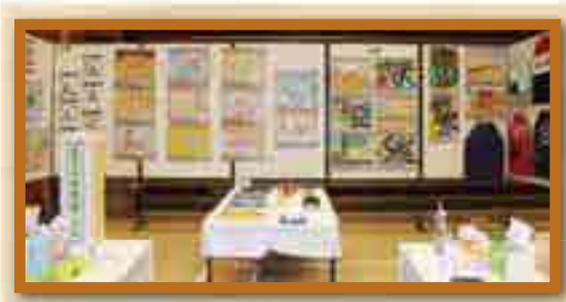


地域の拠り所 町内の公民館を紹介します。



仲南公民館

公民館まつりが
作品展示に変更に
なりました。
各館の活動・展示
作品を紹介します。



長茂公民館



琴南公民館



高橋公民館



皆様のご意見をお聞かせください。mail : gikai@town.manno.lg.jp